

新型コロナ影響下におけるアジア航空市場の状況と当社の取組み

2021.12.10 日本航空 アジア・オセアニア地区支配人室



JAPAN AIRLINES

■ 東南アジアの新型コロナの状況

- 東南アジアの新型コロナ感染状況
- 新型コロナは東南アジアのエアラインの業績に大きな影響
- 各国の入国規制緩和状況と国際流動再開の取り組み
- 各国エアラインの対応

■ JALの取り組み

- 新型コロナはJALの業績にも大きな影響
- 新型コロナからの復活を目指して
 - ✓ 事業構造改革
 - ✓ お客様の安心・安全、新型コロナ時代の旅行利便性への取り組み
 - ✓ ESGへの取り組み

■ まとめ

- 「人的国際流動の回復」に向けて

AOR各国・日本・英国・米国・EUの新型コロナウイルス感染状況（2021年12月4日現在）



JAPAN AIRLINES

	累計感染者数	人口100万人あたり 感染者数	新規感染者数一日平均 (過去7日間平均)	増減 (対前週)	死者数一日平均 (過去7日間平均)	増減 (対前週)	ワクチン接種率 (対人口)	
							1回接種	必要回数接種
インドネシア	4,257,489	15,405	320	-12%	10	-8%	51%	36%
マレーシア	2,654,474	80,988	5,097	-9.5%	44	-2%	79%	78%
タイ	2,136,537	30,543	5,253	-21%	37	-27%	69%	60%
フィリピン	2,834,294	25,523	626	-45%	152	-28%	NA	34%
インド	34,624,360	24,849	8,545	-11%	374	+7%	57%	33%
韓国	473,034	9,220	3,998	+21%	42	+34%	83%	80%
ベトナム	1,294,778	13,189	14,712	+9%	173	+39%	74%	54%
台湾	16,648	698	9	+47%	0	-	77%	58%
シンガポール	268,659	49,263	1,251	-34%	7	-15%	NA	93%
オーストラリア	217,836	8,447	1,380	3%	7	-20%	78%	74%
日本	1,727,125	13,702	96	-17%	1	-47%	79%	77%
英国	10,479,955	153,649	43,877	+2%	121	-10%	75%	68%
E.U.	47,830,288	106,957	261,126	+9%	1,847	+7%	71%	67%
米国	49,051,140	147,338	93,810	+7.8%	1,137	+16%	71%	59%

- ✓ 全体的にはワクチン接種も進み、感染拡大は一時期よりは減速。
- ✓ 日本ではワクチン接種率が欧米を超え、感染者、死者数が急減。
- ✓ 当初ワクチン接種率の高さで先頭を切っていた欧米では、直近で感染者数が急増しているものの、死者数はピーク時よりも減少。
- ✓ アジアではワクチン接種は進行しているものの、接種率（必要回数接種）は日本、欧米より低い国も多く、感染者数、死者数の動向は国によって異なる。

出所：“our world in data”

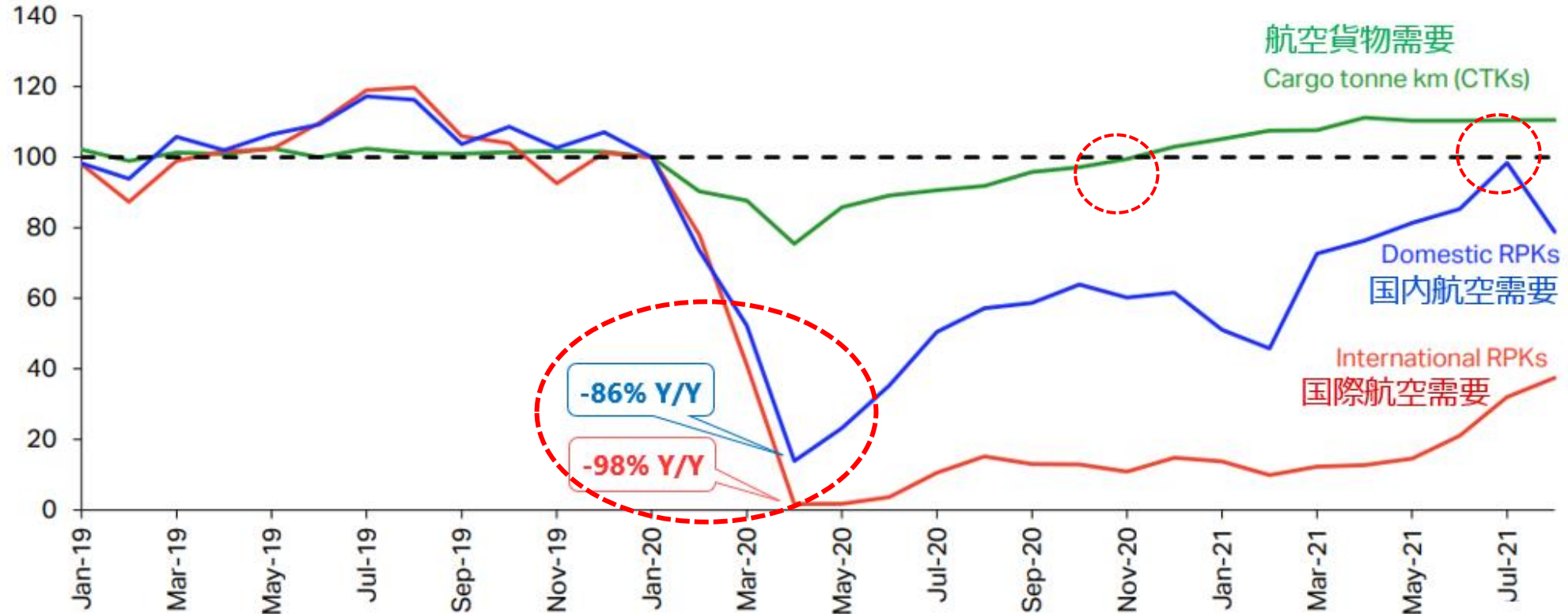
※シンガポールのワクチン接種率のみ11月5日時点

新型コロナウイルス感染拡大後の航空需要の推移



JAPAN AIRLINES

RPKs and seasonally adjusted CTKs (indexed, Jan 2020 = 100)



Source: IATA Economics Airline Industry Financial Forecast update, October 2021

- ✓ **新型コロナウイルスが本格的に拡大し始めた2020年4月には国内航空需要は対コロナ前▲86%減、国際航空需要は同▲98%減まで減少。**
(この時が需要の底)
- ✓ **2021年7月頃には国内航空需要は2019年レベルに近く回復したものの、その後の感染再拡大により、2021年8月時点で、国内航空需要は対コロナ前比▲32%減、国際航空需要は同▲69%減。**
- ✓ **航空貨物需要は2020年11月頃よりコロナ前の需要を上回っている。**当社でも現在、旅客機を使った貨物便を全路線で月間1000便以上運航。

アジアは欧米に比べて「ワクチン接種者に対する隔離免除」が進んでいない

欧米・アジア各国の入国を許可された旅行者に対する検疫隔離の状況

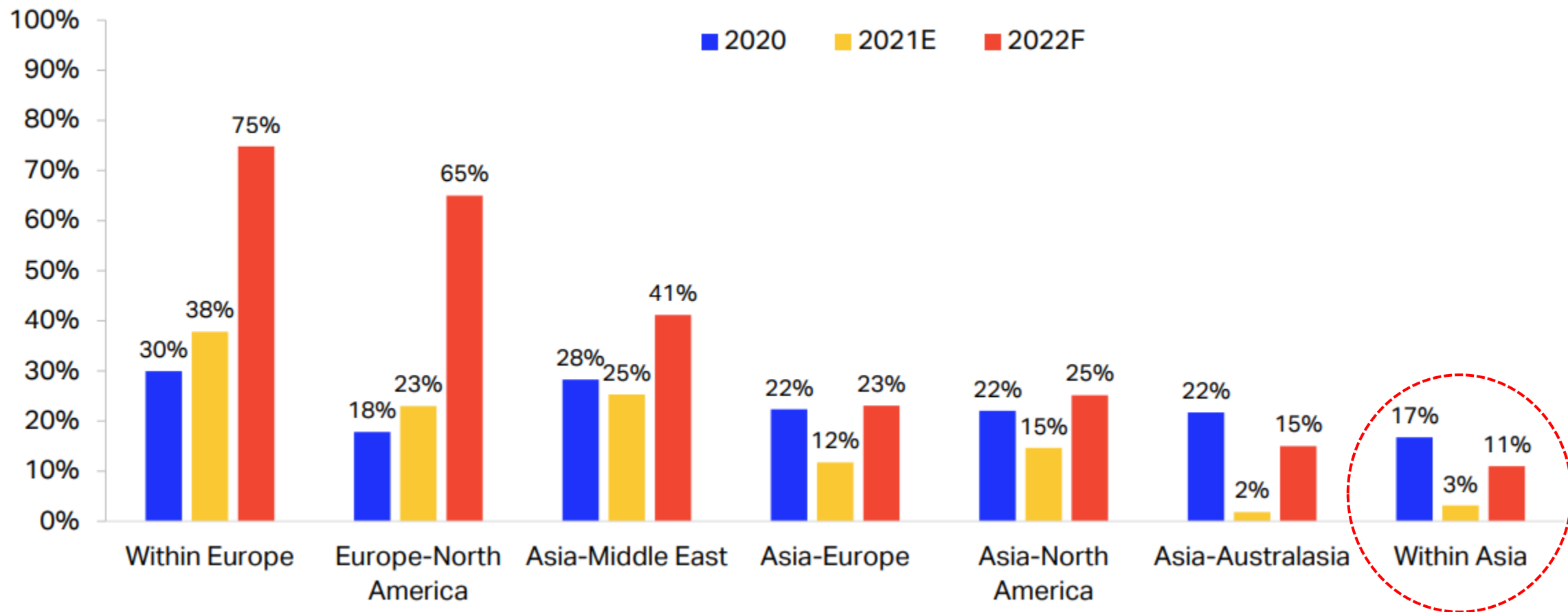
国・地域	ワクチン接種者の隔離有無	対象者の範囲・限定 (入国を許可された旅行者に関して)	備考
アメリカ ドイツ フィンランド フランス カナダ イギリス	「ワクチン接種者は隔離不要」の考え方 (ワクチン未接種者については、国により入国不可であったり、数日の隔離が課される)	自国民はもとより、国籍や出発地の限定なし	ワクチン未接種者は原則米国入国禁止 (米国民は出発1日前の陰性証明書で可) ※11/30以降一部国よりの入国者はワクチン接種者も隔離
韓国 タイ シンガポール			「TEST&GO」スキーム対象国以外は隔離制度あり VTLを利用しない場合は隔離7~10日間
日本 ベトナム インド マレーシア 台湾 インドネシア フィリピン	ワクチン接種者でも隔離が必要	外国人も対象だが、出発地の限定あり	隔離 14日間 隔離 14日間 (ワクチン接種者は7日間) 隔離 7日間 隔離 10日間 (ワクチン接種者は7日間) 隔離 14日間 隔離 7日間 隔離 14日間 シンガポールとのVTL利用者を除く シンガポールとのVTL利用者を除く

※オミクロン株への対応等による規則変更は12月3日時点

「入国制限の緩和が遅れる」と見るIATAは「アジア域内の流動再開」について悲観的



Main International Routes (RPKs % of 2019 levels)



Source: IATA Economics Airline Industry Financial Forecast update, October 2021

✓ シンガポールの「Vaccinated Travel Lanes (VTL) 」 (2021年9月8日より)

入国者の「ワクチン接種」を条件に感染が収まっている特定の国との間で実施。対象者は入国後の隔離措置受けない。利用者は入国予定日の7~30日前に「ワクチン接種済みトラベル・パス (VTP: Vaccinated Travel Pass) 」の取得とVTL専用便 (SQ, LHの直行便) で入国することが必要。

9月8日より試験的にドイツとブルネイからの入国者に導入。

➡ **その後、対象国を拡大。12月現在、計画を含め27か国が対象に (日本は対象外)**

(対象国: 英国、オーストラリア、米国、ドイツ、韓国、カナダ、ブルネイ、デンマーク、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、フランス、イタリア、オランダ、スペイン、スイス、スウェーデン、フィンランド、カンボジア、フィジー、モルディブ、スリランカ、トルコ、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦) ※12月3日時点



✓ タイの「サンドボックス」実証実験 (2021年7月1日より)

「ワクチン接種」を完了した外国人旅行者を検疫隔離免除で受け入れる実証実験。

タイ南部プーケット県より入国して14日間同県に滞在した後、タイ国内の他地域への移動を許可する制度。

(対象国70カ国)

※スタートした直後の7月1日~8月15日の間に同制度を利用した旅行者数は計2万1,135人 (うち1万865人が外国人)

➡ **その後、11月1日より「TEST&GO」スキームとして、「ワクチン接種」が完了している事などを条件に、日本を含む63カ国・地域を対象に入国者の検疫隔離を免除。**



コロナ禍により、アジアの主要エアラインは苦境に



JAPAN AIRLINES

アジア・オセアニア主要エアライン 2020年度業績

(単位：100万USドル)

エアライン	国	収入		営業利益		純利益		年度決算月
		2020	対前年比	2020	2019	2020	2019	
ANAグループ	日本	6,864	-62%	-4,378	562	-3,811	256	2021年3月
大韓航空	韓国	6,277	-41%	202	246	-193	-488	2020年12月
日本航空グループ	日本	4,533	-65%	-3,677	796	-2,712	481	2021年3月
カンタス航空グループ	豪州	4,431	-51%	-1,531	-1,544	-1,290	-1,245	2021年6月
中華航空	台湾	3,613	-24%	166	3	5	-39	2020年12月
アジアナ航空	韓国	3,302	-44%	-234	-374	-426	-702	2020年12月
シンガポール航空グループ	シンガポール	2,801	-76%	-1,844	43	-3,144	-123	2021年3月
ベトナム航空グループ	ベトナム	1,744	-59%	-512	105	-481	109	2020年12月
タイ国際航空	タイ	1,542	-74%	-1,536	-403	-4,506	-393	2020年12月
ガルーダインドネシア航空	インドネシア	1,492	-67%	-2,203	96	-2,477	-45	2020年12月
フィリピン航空	フィリピン	1,115	-63%	-536	56	-1,475	-188	2020年12月

- ✓ 大韓航空と中華航空（台湾）は急増した貨物需要により営業利益を確保。
- ✓ コロナ前より業績の芳しくなかったエアラインは一層の苦境に。タイ航空、フィリピン航空は経営破綻し再建中。ガルーダインドネシア航空も大幅な債務超過による「実質的な破綻状態」（インドネシア国営企業省副大臣）に。
- ✓ 「国内航空市場依存度が大きいキャリアは業績の回復も早い」との見方も。

出所：CIRIUM World Airline Rankings: top 100 by revenue in 2020

シンガポール航空の“Restaurant A380@Changi”



JAPAN AIRLINES

旅行が不可能な状況下での顧客の繋ぎ止め（Engagementの確保）



使われたシンガポール航空のA380機材



Restaurant A380 @Changi

Join us for a memorable dining experience on board the world's largest passenger aircraft. Savour our international dishes or enjoy favourites from our Peranakan menu, specially designed by acclaimed Singaporean chef Shermay Lee.

Event Dates
24 & 25 October 2020

Available on KrisShop.com from
12 October 2020

[LEARN MORE](#)



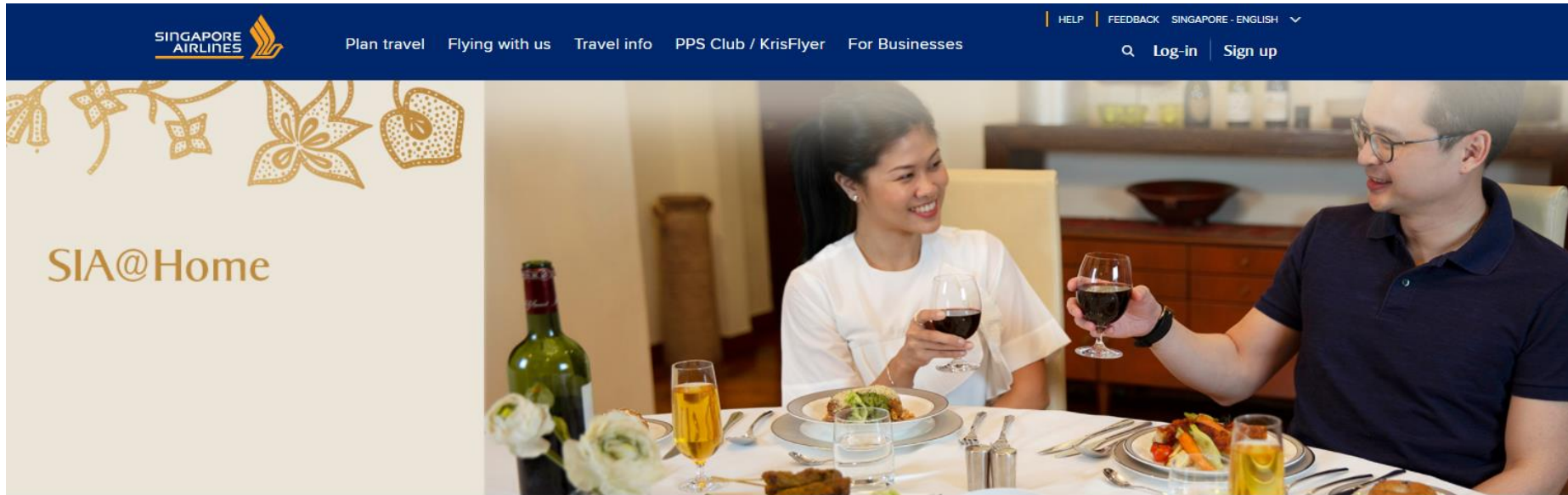
出所：シンガポール航空 HP、FB

SQ機内食の自宅ケータリングサービス“SIA@Home”は現在も継続して行われている



JAPAN AIRLINES

シンガポール航空のECサイト“Kris Shop”の人気商品に



Home > Plan travel

NEW

SINGAPORE AIRLINES
FIRST CLASS FOR 2: MATT MORAN MENU, WINE AND DINE

SGD 688.00
or 86,000 miles



デリバリーにはプレミアムクラスのアメニティや、機内で使用している食器類も付いてくる

出所：シンガポール航空 HP

タイ国際航空は本社社員食堂を“機内”のように改装して一般開放



JAPAN AIRLINES



入口にはタラップが設置されてお客様をお出迎え



店内にはエコノミークラスの座席を設置



現役の客室乗務員が料理をサーブ



乗務員たちが人気の歌謡曲を演奏して店内を盛り上げた

出所：「苦境のタイ航空、なりふり構わぬキャッシュ獲得作戦」日経ビジネス電子版 2020年10月7日

タイ国際航空が市内で販売した「パートンコー」(揚げパン) はブームに

プラユット タイ首相も試食



出所：The BANGKOK INSIGHT 2020年10月6日, Puff & Pie HPほか



タイ国際航空は自社で運営するベーカリー「パフ&パイ」と「パートンコー」(揚げパン) 専門店舗のフランチャイズ展開を計画。

東南アジア最大のLCC、エアアジアグループはスーパーアプリ等の展開を加速



JAPAN AIRLINES

東南アジアで蓄積した顧客データやブランド力などを基に多岐にわたる新規事業を拡大

AirAsia Group Berhad
Analyst Briefing for the 1Q2021 Financial Results
27 May 2021



a money マレーシア

Santan
flavours of asean

マレーシア

Skin Problem Solver
BRIGHTENING SERIES

airasia beauty

Kode Promo **BRIGHTENING40**
Min. pembelian IDR 100ribu. Max. discount IDR 40ribu.
Urutak 100 pelanggan per hari.
Periode: 15-17 November 2021

50% OFF



airasia Super App | **gojek**

Go Red
with airasia Super App

We're gearing up to bring an all new experience for every need, for everyone in Thailand.

Thank you, Gojek.
Hello, airasia Super App.

airasia beauty

マレーシア、インドネシア

airasia food

マレーシア



タイ

出所：エアアジアグループ各社 HP

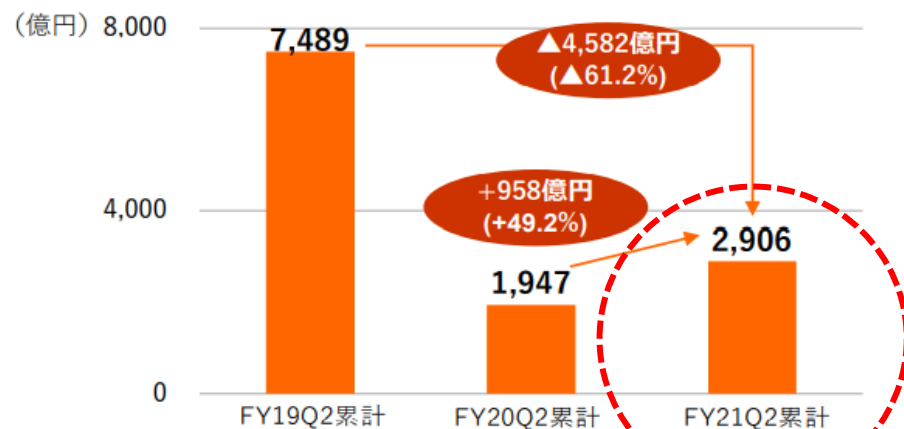
- 東南アジアの新型コロナの状況
 - ・ 東南アジアの新型コロナ感染状況
 - ・ 新型コロナは東南アジアのエアラインの業績に大きな影響
 - ・ 各国の入国規制緩和状況と国際流動再開の取り組み
 - ・ 各国エアラインの対応
- JALの取り組み
 - ・ 新型コロナはJALの業績にも大きな影響
 - ・ 新型コロナからの復活を目指して
 - ✓ 事業構造改革
 - ✓ お客様の安心・安全、新型コロナ時代の旅行利便性への取り組み
 - ✓ ESGへの取り組み
- まとめ
 - ・ 「人的国際流動の回復」に向けて

新型コロナはJALの業績にも大きな影響

影響は続いているが、売上収益、EBIT等は前年より改善

2022年3月期 第2四半期決算 業績

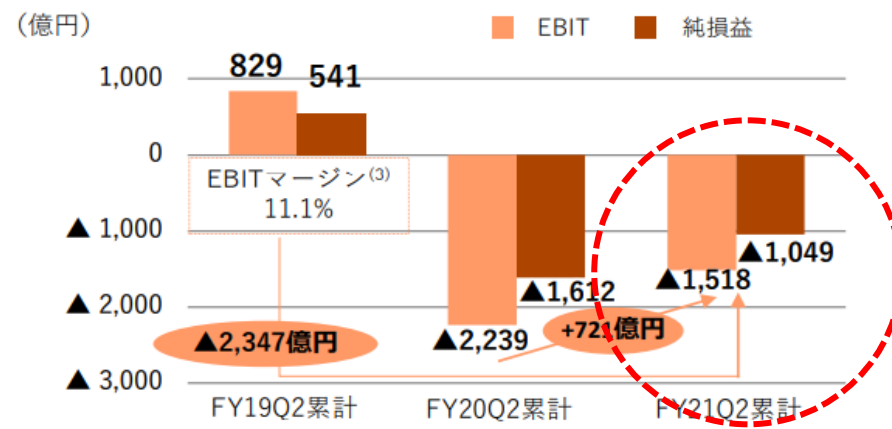
売上収益



燃油・為替市況実績

	FY20Q2	FY21Q2	FY20Q2比
シンガポールケロシン (USD/bbl)	36.3	72.1	+98.6%
ドバイ原油 (USD/bbl)	35.4	67.9	+91.8%
為替 (円/USD)	107.5	109.5	+1.9%

EBIT⁽¹⁾/純損益⁽²⁾



運航諸元/ASK

	FY19Q2比	FY20Q2比
国際線	▲60.3%	+234.9%
国内線	▲41.6%	+20.1%
合計	▲52.8%	+78.1%

(1) EBIT=財務・法人所得税前損益 (税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの) (2) 純損益=親会社の所有者に帰属する四半期損益

(3) EBITマージン=EBIT/売上収益

アジア・オセアニア地区の復活への取り組みも「経営戦略の3本柱」が基本

「2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画」より



ESG : Environment(環境), Social(社会),Governance(ガバナンス)への取り組み。

2023年までは「財務基盤の再構築」
 2024年以降は「2024年度以降は成長に向けた投資を積極化」

		FY2021～2023	FY2024～2025
リスク耐性強化と資本効率の両立 <ul style="list-style-type: none"> リスク耐性強化 資金調達能力の維持向上 資本効率・資産効率向上 	手元流動性	旅客収入5.0～5.6か月分の確保 (コミットメントラインの活用を含む)	同水準の維持
	安全性	自己資本比率50%程度まで回復	同水準の維持
	信用格付	→	「Aフラット」取得を目指す
	資本効率	ROIC*1 9%、ROE 10%以上の達成	維持・向上
経営資源配分 <ul style="list-style-type: none"> 財務規律の遵守 最適な資源配分実施 サステナブルな成長に向けた投資の推進 	資産配分	財務体質改善優先	持続的成長に向けた投資を推進
	規律	毎期十分なフリーキャッシュフローを確保	
株主還元方針 <ul style="list-style-type: none"> 配当は安定性・継続性を重視 配当性向35%程度以上 機動的に自己株式取得を検討 総還元性向の向上を図る 	配当	早期復配を目指す	配当性向35%程度以上を安定的に実現
	総還元	→	機動的に自己株式取得の実施を検討

*1: 投資利益率 (ROIC) = EBIT (税引後) / 期首・期末固定資産 (*2) 平均 *2: 固定資産 = 棚卸資産 + 非流動資産 - 繰延税金資産 - 退職給付に係る資産

APEX社とSKYTRAX社の両社から最高水準評価（アジアで初）



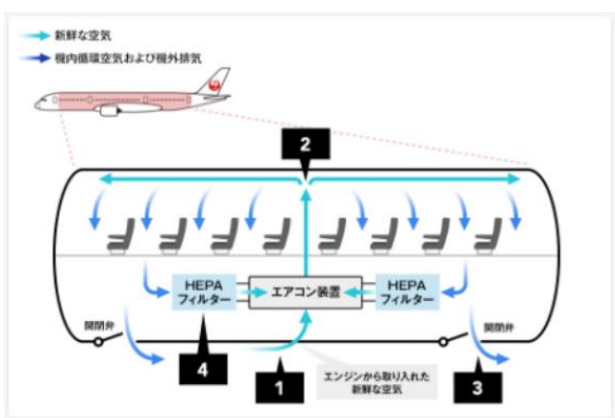
客室乗務員のマスク・手袋の着用

Your Safety, Our Priority
JAL FLY SAFE

コロナ禍でも安心してご利用いただけるよう、徹底した感染症対策「JAL FLY SAFE」を実施



抗ウイルス・抗菌コーティング



空気循環（換気）



空港チェックイン機・自動手荷物預け機
タッチパネルの非接触化

出所：JAL HP

旅行中の新型コロナに由来する医療費などを補償する「JALコロナカバー」の無償ご提供

期間限定 安全・安心はさらなるステージへ

国際線ご利用のすべてのお客様に
渡航時の新型コロナウイルス感染症 無料でサポート

JALコロナカバー提供中

期間延長

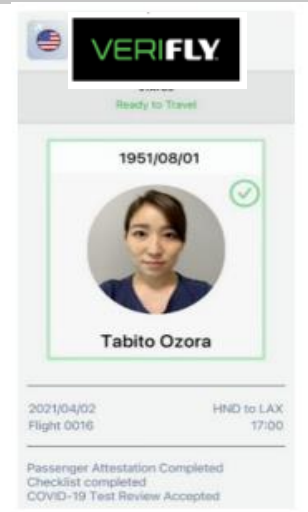
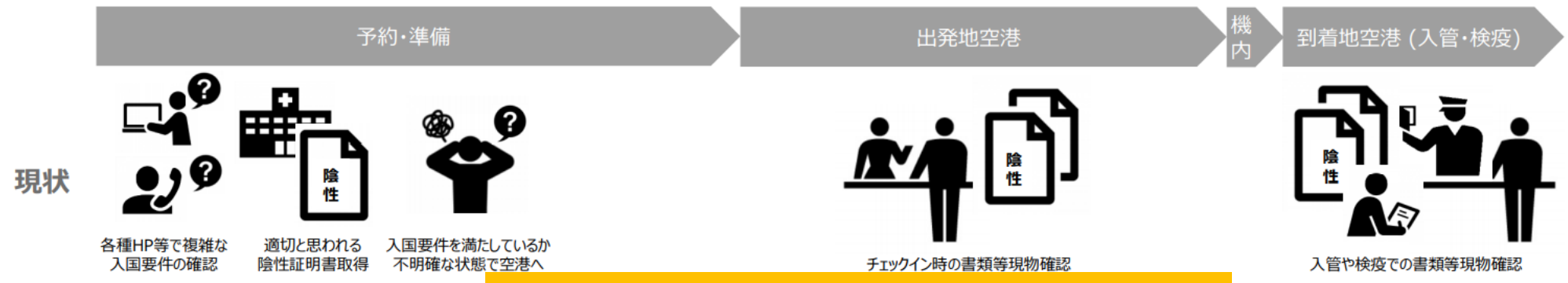


- ・ JAL国際線ご利用時に**無償でご提供**（JL便名かつJL運航便）
- ・ 万一の際の**24時間無休の医療・宿泊手配に関するご相談窓口**をご用意。
- ・ **自動付与**のため事前登録不要。
- ・ **最大15万ユーロの医療費**をカバー。
- ・ **最長14日間、1日あたり最高100ユーロの検疫隔離費用**をカバー

渡航先で感染を疑う症状がでた時に
24時間無休でご相談できる窓口



「デジタル証明書アプリ」実用化の取り組み

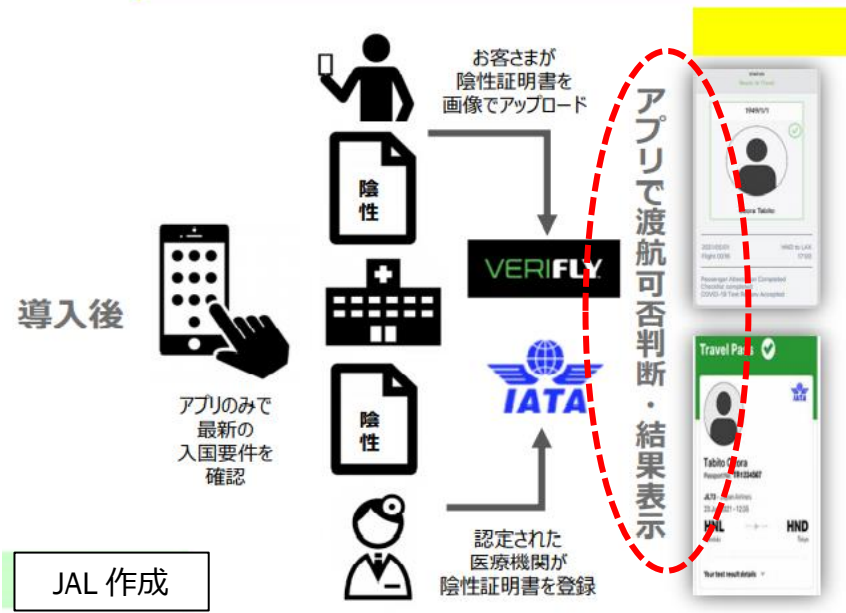


お客様の利便性・安心感向上 手続き簡素化

データの真正性の確保

オペレーションの効率化・接触機会低減

(日本⇒アメリカ本土路線で導入済)



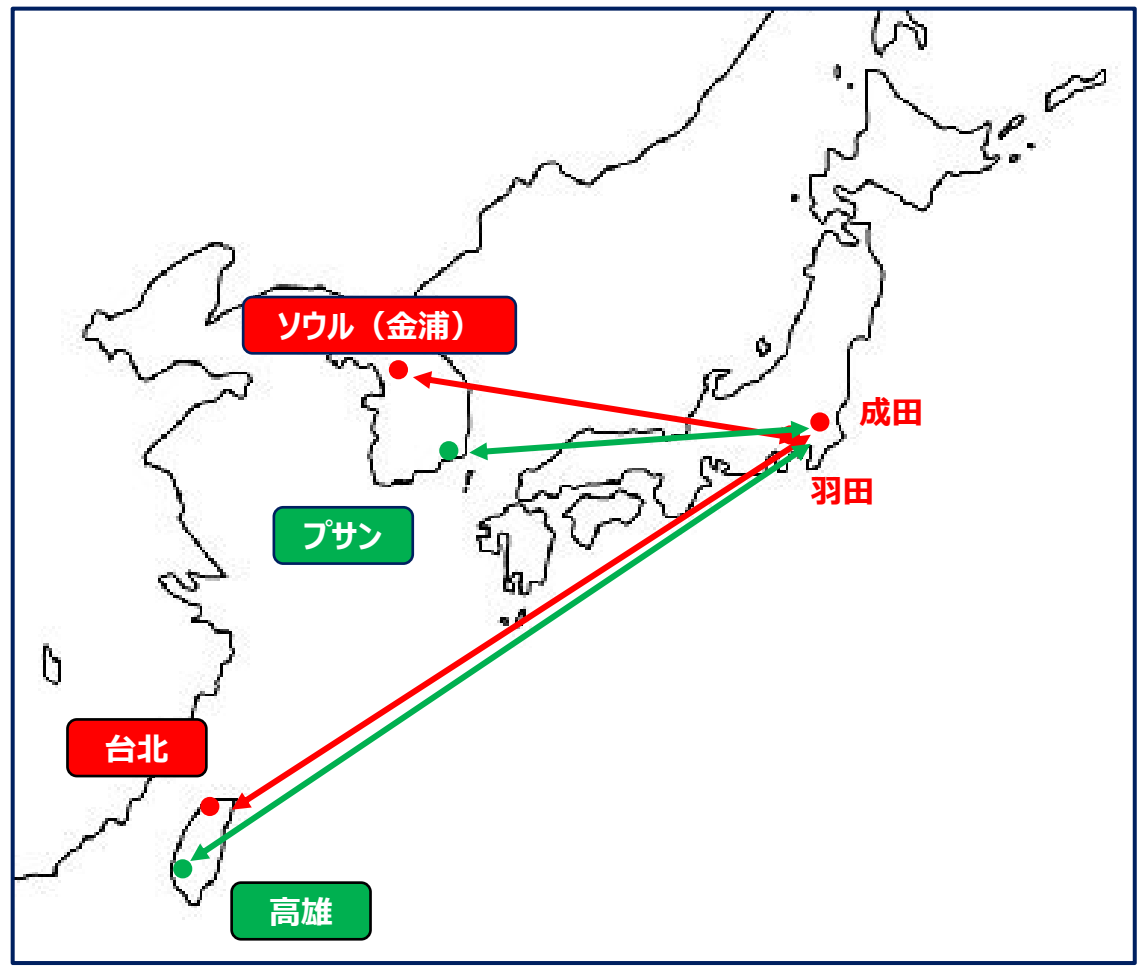
将来イメージ



IATAトラベルパス (日本⇒SIN/HNL路線で実証実験)

JAL 作成

拠点閉鎖となったプサン地区と高雄地区社員は、日本を含めた別地点へ転勤、もしくはリモート勤務

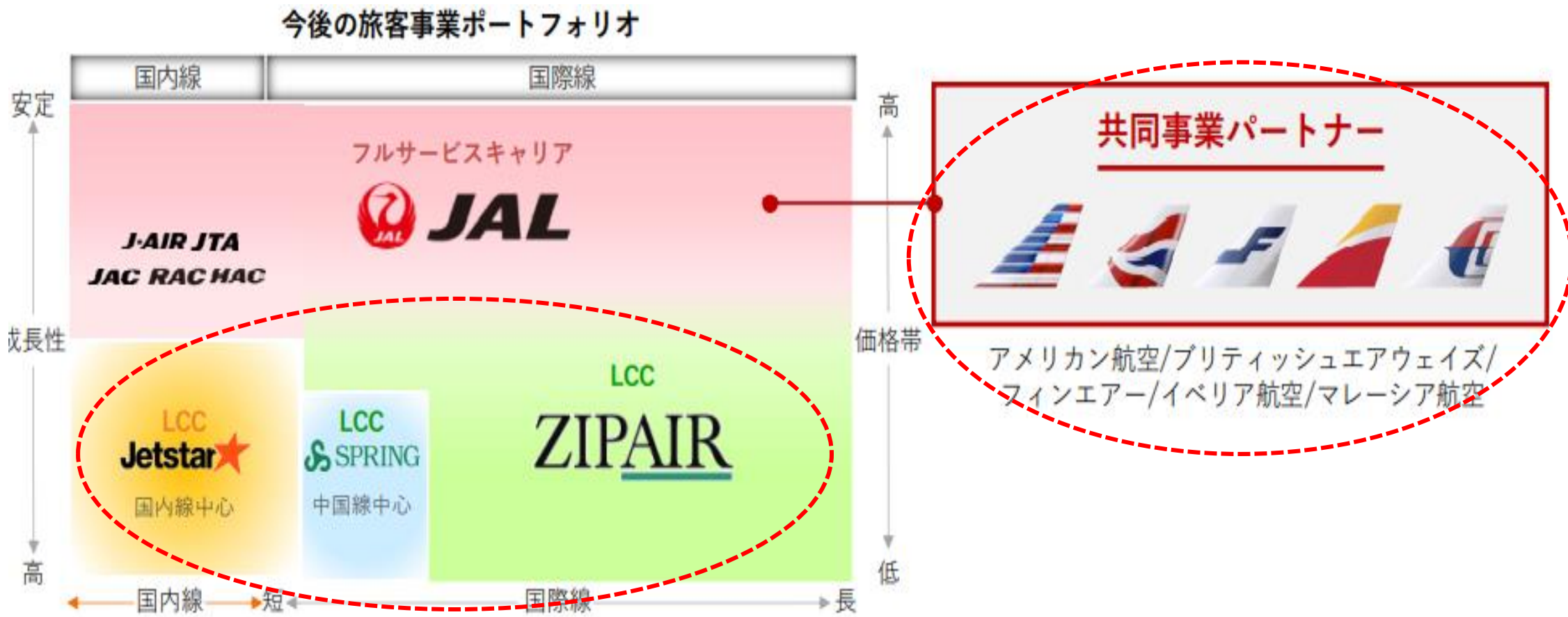


コロナ禍でも「経営方針」として雇用は維持

イメージ作製、写真撮影：JAL

新型コロナ後の“旅行ニーズの変化”に対応 (JALグループの顧客層の拡大)

2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画より



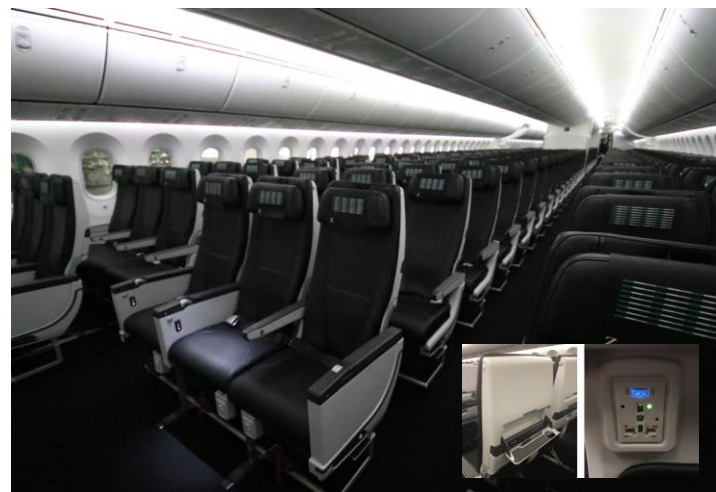
JALグループの中・長距離LCC : ZIPAIR Tokyo



ZIPAIR
Tokyo



代表取締役社長:西田 真吾

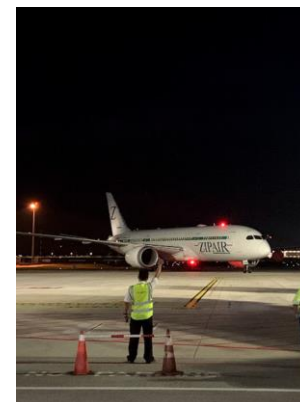


2018年7月設立



写真提供 : ZIP AIR Tokyo

アジア、北米に拡大するZIPAIR



シンガポール到着第一便

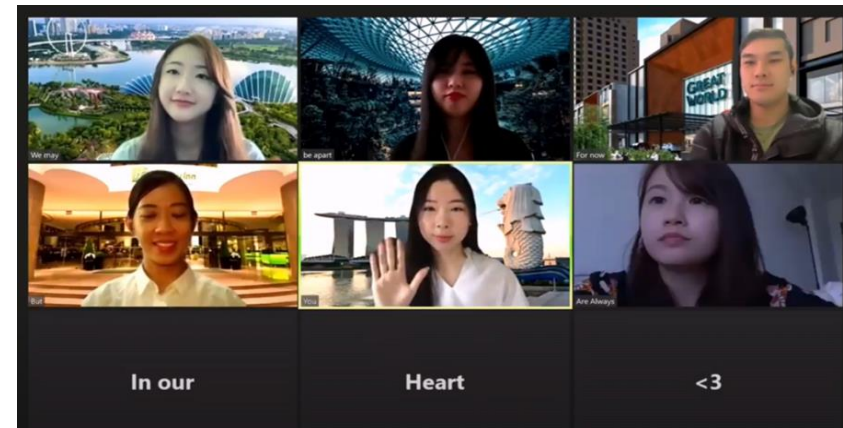
- 2020年6月3日 バンコク線就航
- 2020年9月12日 ソウル線就航
- 2020年12月19日 ホノルル線就航
- 2021年9月7日 シンガポール就航
- 2021年12月25日 ロサンゼルス就航予定

海外基地所属の客室乗務員による教育事業参加

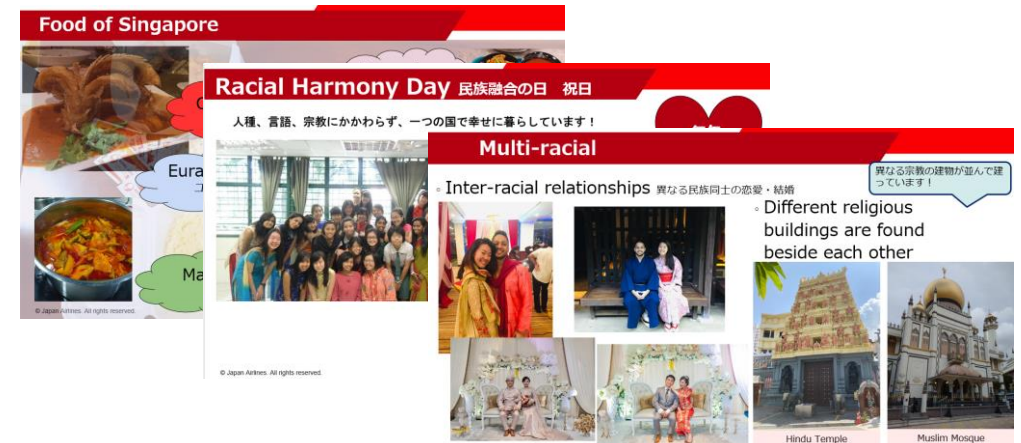


ZOOMによる日本国内の大学・専門学校などへの、文化・航空講座の提供（シンガポール）

イメージ作製、写真撮影：JAL



海外基地客室乗務員が当地からライブ中継



当地ならではのテーマ、情報

「日系レストラン」でのエコノミークラス機内食のご提供



実物のJALエコノミークラスミールをご提供（シンガポール）



会場では日本の「風呂敷」文化（包み方）のご案内も



ZOOMによる配信

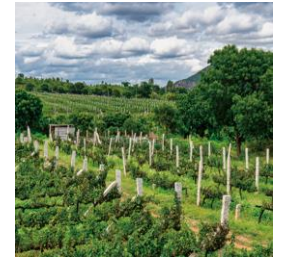


現役海外基地客室乗務員によるメニューのご説明など

メニューは海外客室乗務員による「お客さまに評判の良かった」観点での人気投票で決定

写真撮影：JAL

南インドベンガルル発「インドワイン」の紹介



数量限定

JAL ベンガルル（インド）-成田線にて
南インドワインを空輸しました！

数量限定販売：11月18日（木）～

有楽町 JALプラザ「TABITUS+ STATION」にて限定販売

インドで最も歴史の古いブドウ栽培者である Grover Zampa Winery は 1988 年設立され、1992 年南インド・ベンガルル（現ベンガルル）北東部のナンディヤルで最初のワインを醸造しました。2018 年には「WINEYARD OF THE YEAR」At The Asian Wine Review を受賞しました。ぜひこの機会にお楽しみください。

【店舗情報】
営業時間 10:30～19:30
〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル南館

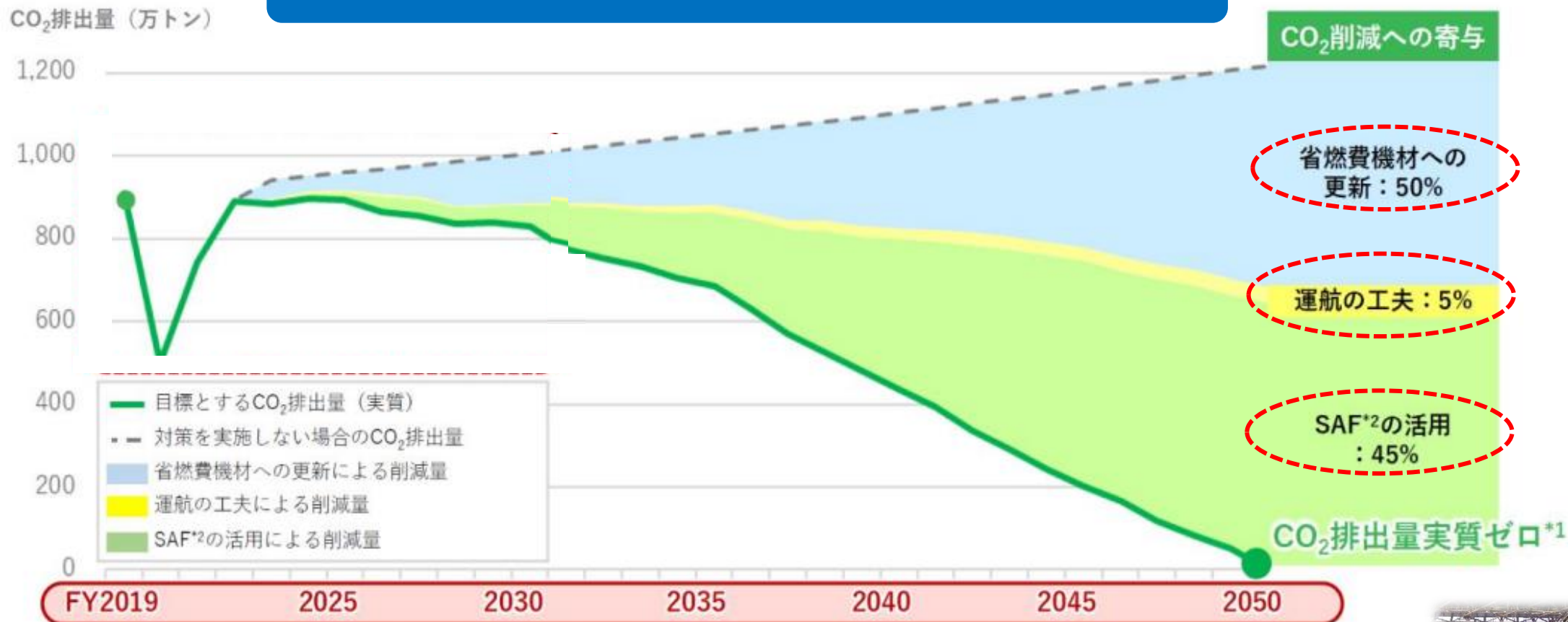
★20歳未満の者の飲酒は法律で禁じられています

当社のインド南部ベンガルル（バンガロール）路線にてインド産のワイン516本を初空輸。有楽町「JALプラザ」でも11月18日より販売。将来的には当社インド路線の機内でも提供し「インドワイン」の普及に協力予定。

新型コロナが終息した後も、安定的な貨物収入の確保を目指します。

写真提供：JAL

JALグループのCO2排出量実質ゼロに向けたロードマップ



- 省燃費機材への更新** 当面は最新鋭の省燃費機材を活用し、将来的には水素や電動などの新技術を使った航空機を導入
- 運航の工夫** 自社の取組み（JAL Green Operations）に加え、管制機関・航空会社・空港運営会社等、業界全体で協働を推進
- SAF²の活用** 脱炭素社会を目指すステークホルダーとの協働により、SAF²の供給量を確保するとともに費用削減を推進



機内食が不要なお客さまのための新たなサービス「JAL Ethical Choice Meal Skip Option」を開始



- ・ 機内食が不要な場合、ご出発前にJAL Webサイトより事前にお申し込み※頂けます。
- ・ 機内でゆっくりとお休みになられたいお客さまや、食品廃棄削減にご協力を頂けるお客さまに向けたサービス。

※ アジア発でも実施

JALグループでは「限られた資源の有効利用」の観点より以下の取り組みを行っております。

- 食品廃棄削減
- 機内ごみのリサイクル
- 制服のリサイクル
- 貨物梱包資材のリサイクル
- プラスチック使用量の削減
- ペーパーレス化の推進
- オフィス什器の削減とリユース、リサイクル
- 水資源の保全

お申し込み頂いたお客様には機内でJALオリジナルアメニティキットをお渡しいたします。

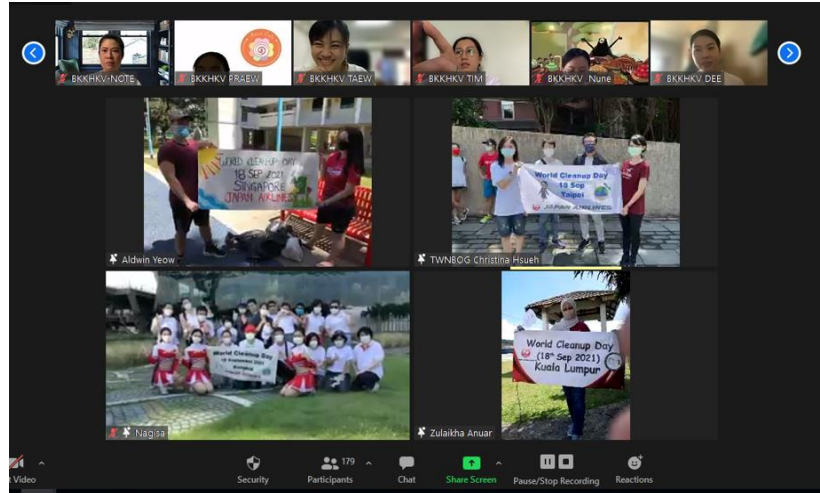


ビジネスクラス



プレミアムエコノミークラス/エコノミークラス

アジアオ・セアニア地区4支店による合同企画「World Cleanup Day 2021」（9月18日）イベントを実施



最後はZOOMで4か国を同時中継して記念撮影

バンコク 支店



シンガポール 支店

クアラルンプール 支店

台北 支店

写真撮影：JAL

「オンライントリップ」による地域創生イベントへの協力



オンライン阿波踊りでは大変盛り上がりました (台湾)



シュミレーター映像で旅行気分にな (台湾)



タイ語による北海道イベント告知 (タイ)



クイズで北海道をご紹介 (タイ)



徳島県のお土産を配布 (台湾)



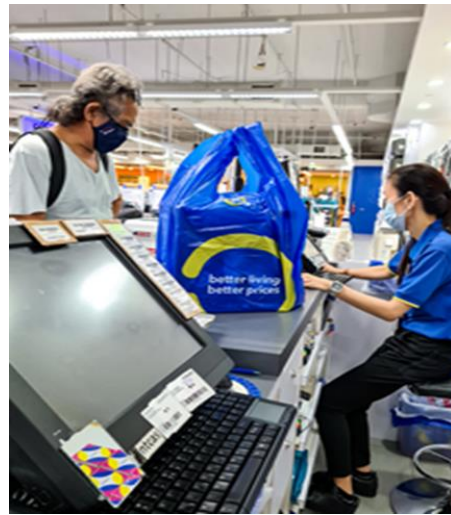
徳島県オリジナルメニュー“JAL 機内食風” (台湾)



海鮮市場に「リモートトリップ」 (タイ)

写真撮影：JAL

地元大手電機量販店に海外基地客室乗務員が出向



実際の接客を担当（シンガポール）



出向先企業には「おもてなし講座」の提供も

- 東南アジアの新型コロナの状況
 - ・ 東南アジアの新型コロナ感染状況
 - ・ 新型コロナは東南アジアのエアラインの業績に大きな影響
 - ・ 各国の入国規制緩和状況と国際流動再開の取り組み
 - ・ 各国エアラインの対応
- JALの取り組み
 - ・ 新型コロナはJALの業績にも大きな影響
 - ・ 新型コロナからの復活を目指して
 - ✓ 事業構造改革
 - ✓ お客様の安心・安全、新型コロナ時代の旅行利便性への取り組み
 - ✓ ESGへの取り組み
- まとめ
 - ・ 「人的国際流動の回復」に向けて

① 消費者マインドの改善

（罹病への不安、各国が求める複雑な手続きに対する抵抗感（不安）、長く制限された「旅行に対する消費行動の変化」への対応）

② 旅行に係わるコストの低減や手続きの簡易化（検査・隔離・保険負担などの軽減）

③ 各国の入国規制の緩和・基本的ルールの一貫化（ビザの停止や隔離措置などの緩和、撤廃）

- ✓ 各国間で**相互に（互恵的な）緩和規制**が行われないと、国際旅客流動の本格的な再開は望めない。
（例えば、出発国の隔離が緩和されても、到着国の隔離が残っていれば流動は再開しない）
- ✓ 「各種証明書のデジタル化」や「読み取りアプリの開発」など**「デジタルの活用による解決」も必要。**
（検疫や入国審査の処理能力向上の観点からも各国でのデジタル規格の導入が重要）
- ✓ 入国条件としてのワクチンの種類、検査・隔離期間、証明書の統一フォーマット等、**世界共通のルールづくりが望ましい。**

日本での**VISA発行の停止、入国総量規制、入国後の隔離、公共交通機関の利用禁止**などの制限は**経済活動の「重し」**になっている。



ご清聴ありがとうございました。